

# はつらつ 宮っこ

ID 1008394

それぞれの目標に  
照準を定めて



1 栃木県代表チーム（右から3番目=内山さん、右から4番目=水井さん） 2 優勝時の栃木県代表チーム  
3 4 内山さん 5 6 水井さん

栃木県代表チーム  
内山 豊さん  
水井 礼和さん

## プロフィール

昨年10月に開催された「第74回国民体育大会」のクレ射撃競技会・団体種目に出場した栃木県代表チーム。令和元年度に宇都宮市民賞を受賞。

総合優勝という結果に、スキートに出場した内山豊さんは「まさか優勝できるとは思っていなかった。良かったです」、トラップに出場した水井礼和さんは「チーム全員が日ごろの成果を出し切り、この上ない成績を収めることができました」と、それぞれに喜びを語ります。また、「チームが同じ方向に向かって団結した結果」と優勝の決め手を語る水井さんは顔をほころばせます。

昨年10月に、茨城県で開催された「第74回国民体育大会」。クレ射撃競技会の団体種目では、栃木県代表チームが序盤から高い得点を重ね、見事、総合優勝に輝きました。クレ射撃は、クレと呼ばれる皿状の標的を散弾銃で撃破していくスポーツで、オリンピックの正式種目にもなっている競技です。国民体育大会の団体種目は、15台ある放出機のうちの1台から遠方にクレが飛び去る「トラップ」と、左右の放出機からクレが放出される「スキート」という2種目で争われ、それぞれ3人1組で出場します。総合では、これら2種目の合計点で競い合います。

しかし、選手として各地を訪れた際、温かい歓迎を受けた経験から、内山さんは「栃木県の特徴を出し、栃木を訪れた選手たちに、いいところだったと思って帰ってほしい」、水井さんは「精いっぱいのおもてなしで恩返しをしたい」と、今度は迎える立場として訪れる人たちを温かく受け入れようとしています。

そのため、生涯にわたって楽しめるスポーツであること。さらに、内山さんは「スキートは標的1つに對して、弾を1発しか打てないため、ゲーム性が高い」と競技としての魅力を語ります。今後の目標について、栃木県クレ射撃協会の会長も務める内山さんは「選手の強化・育成や、若い人材を増やすことに力を入れたい。そうして栃木県がもっと強くなれば」と真剣な面持ち。水井さんは「またチャンスがあれば、国体に挑戦したい」と前向きです。残念ながら、2年後の2022年に本県で開催される第77回国民体育大会では、クレ射撃競技会の開催はありません。